学習指導案

１　科目名　家庭総合

２　使用教材　家庭科（家庭総合）教科書、熊本県家庭部会編　家庭科学習ノート

３　単元名　「人生１００年時代のスタートをきろう。」

内容のまとまり　Ａ人の一生と家族・家庭及び福祉
Ｂ衣食住の生活の科学と文化
Ｃ持続可能な消費生活・環境

１年を通して、随時、授業の中でライフプランをＡ～Ｃの内容と関連付けていく。

４　単元の目標

	知識及び技能	思考力，表現力，判断力等	学びに向かう力・人間性等
単元の目標	・人の一生について，自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解することができる。 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解することができる。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察することができる。 ・生活資源を活用して生活設計を工夫することができる。	・生活設計の作成に取り組むことにより、各ライフステージにおける生活の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

**指導要領解説の内容とその取扱い
目標の記述を引用**

（２）単元の評価規準

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	・生涯発達の視点に立って、乳児期から高齢期までのライフステー ジの特徴と課題を見通し、他者と関わりながら生涯を通して課題を達成しつつ発達していくことを理解している。 ・ライフステージの課題達成の方法や選択は一人一人の意思決定により異なる過程をたどり、様々な生き方があることを理解している。 ・主体的に生涯の生活を設計していくことの意義や、将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を理解 している。 ・生活設計を通して社会の動きをみつめ、不測の事態にも柔軟に対応する必要性や、社会のあり方や地球環境を考慮した広い視野をもって意思決定し、生活を創造していくことの重要性を理解している。 ・家族、地域社会との関わりを通じて、他者や自然との共生を図りながら、より豊かな衣食住生活を営むための知識と技能を身に付けることが，生活設計の基礎となることを理解している。	・生活設計を具体化するために収集した情報を適切に取捨選択して活用している。 ・自分の目指す生活設計を実現するために、各ライフステージの特徴と課題やライフイベントと関連付けたり、職業選択、仕事と生活の調和などの具体的な事例を取り上げたりして考察し、生活設計を工夫している。 ・生活資源の活用に気付き、各ライフステージの目標の実現に必要な条件を考えて生活設計を工夫している。 ・家族・家庭及び福祉、衣食住、持続可能な消費生活と環境と関連付けて考察し、生活設計を工夫している。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活設計の作成に取り組むことにより、生活の課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って生活設計を改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

**指導要領解説の内容とその取扱い
（内容を取り扱うにあたっての配慮事項）の記述を引用**

最後の２つには消費者市民の視点を追加

家庭総合の内容をできるだけ他の学習と関連付けて生徒が作った生活設計をアップデートさせたいと思い、衣食住や消費生活の学習指導要領の内容を取り入れてみました。

（３）学習活動に即した単元の評価規準

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
具体化した評価規準	・自分の生活設計を通して、各ライフステージの課題を達成するために必要な知識や技能は家庭科で身に付ける力と密接な関係があることを理解している。 ・青年期における自立、家庭・家族のあり方や職業選択に関する意思決定は生活設計に大きく影響することを理解している。 ・生活設計の達成には乳幼児期の福祉に関わる保育所や育児休業制度など施設・制度の充実が重要であることを理解している。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉のあり方が生活設計に大きく影響することを理解している。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活を送るために必要な知識や技能について理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康と安全、環境に配慮した衣生活をおくるために必要な知識や技能について理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住生活の機能について科学的に理解している。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性及びリスク管理の考え方について理解している。 ・消費者問題につながる契約の重要性や消費者保護の仕組み、消費者の自立と支援について理解している。 ・持続可能な消費及び持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。	・ライフステージの課題を家庭科の学習目標や内容と関連付けて考察し、生活設計の達成に活用している。 ・青年期の特徴や発達課題をもとに生活設計を実現するための短期目標を考え、表現しようとしている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び必要な福祉サービスについて考察し、生活設計を工夫している。 ・生活設計の達成に必要な高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び社会保障制度について考察している。 ・生活設計の達成のために各ライフステージで必要な福祉や社会的支援について考察している。 ・健康・快適・安全、持続可能な社会の構築などの視点から、よりよい食生活の創造につながる消費行動について考察している。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理を行い生活設計に活用している。 ・住生活を取り巻く課題や住生活に関わる情報を収集・整理して住まいを選択し、長期的視点で家計の運営を工夫している。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理についてライフステージごとの課題や社会保障制度と関連付けて考察し、生活設計を工夫している。 ・生活情報の収集・整理を行い、生活設計に活用している。 ・持続可能な社会を目指して生活設計を工夫している。	・生活設計の達成に向けて様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとしている。 ・生活設計の作成に取り組むことにより、生活の課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って生活設計を改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭,地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・消費者市民の視点から生活設計を考え、実践しようとしている。

（４）指導と評価の計画（６時間）

※２～４は独立したものではなくＡ～Ｃの学習内容と生活設計を関連付けて考察及び振り返りを行う。

１．人生１００年のスタートを切ろう（本時）	１時間
２．人の一生と家族・家庭及び福祉	１時間のうち下表（※関連付けの例）に示した時間
３．衣食住の生活の科学と文化	１時間のうち下表（※関連付けの例）に示した時間
４．消費生活と持続可能な社会	２時間のうち下表（※関連付けの例）に示した時間
５．人生１００年時代の生活設計	１時間

※関連付けの例

10分	青年期の自立 【ねらい】青年期の特徴や発達課題をもとに生活設計を実現するための短期目標を考える。 ・青年期の発達課題である５つの自立について自己を振り返り、１年間の自立目標を漢字１字で表す。 ・学年の終わりに自己評価する。	思考・表現・判断 主体的に学習に取り組む態度
10分	家族・家庭及び社会 【ねらい】家庭・家族のあり方や職業選択について生活設計と関連付けて考える。 ・ジェンダーギャップ指数やM字型曲線の意味や背景を分析して、生活設計の達成には社会の意識や制度のあり方が関わっていることを理解する。 ・自分の生活設計をみて家族・家庭や職業に関する自分の考えを振り返る。	知識・技能
15分	子供との関わりと保育・福祉 【ねらい】子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び福祉について生活設計と関連付けて考える。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び福祉サービスについて情報を収集・整理し、生活設計の達成に必要な社会制度について考察する。	思考・表現・判断
15分	高齢者との関わりと福祉 【ねらい】高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び福祉について生活設計と関連付けて考える。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び福祉サービスについて情報を収集・整理し、生活設計の達成に必要な社会制度について考察する。	思考・表現・判断
15分	食生活の科学と文化 【ねらい】健康や環境に配慮した食生活及びその基礎となる家計管理について生活設計と関連付けて考える。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活を送るために必要な知識や技能について理解する。 ・健康・快適・安全、持続可能な社会の構築などの視点から、よりよい食生活の創造につながる消費行動について考察する。	知識・技能 思考・表現・判断
15分	衣生活の科学と文化 【ねらい】健康や環境に配慮した衣生活及びその基礎となる家計管理について生活設計と関連付けて考える。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康と安全、環境に配慮した衣生活をおくるために必要な知識や技能について理解する。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理を行い、生活設計に活用する。	知識・技能 思考・表現・判断

20分	住生活の科学と文化 【ねらい】安全や環境に配慮した住生活及びその基礎となる家計管理について生活設計と関連付けて考える。 ・住生活を取り巻く課題や住生活に関わる情報を収集・整理して住まいを選択する。 ・生活設計に応じた住まいの資金計画を考える。	思考・表現・判断 思考・表現・判断
50分	生活における経済の計画 【ねらい】生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方を理解する。 ・人生を通して必要となる費用はライフステージごとに異なることを理解しする。 ・教育資金、住宅取得、老後の備えのほか、事故や病気、失業などのリスクへの対応策が必要であることを理解し、その方法を知る。	知識・技能 知識・技能
25分	消費行動と意思決定 【ねらい】契約の重要性や消費者保護の仕組みを理解し、生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・契約の重要性を理解し、消費者市民として消費者問題の解決のために行動できる。 ・生活情報を収集し、適切な意思決定に基づいて生活設計に活用できる。	知識・技能 思考・表現・判断
25分	持続可能なライフスタイルと環境 【ねらい】持続可能な社会を目指して生活設計を工夫できる。 ・日々の生活が地球環境問題や世界の諸問題につながることを理解し、持続可能な消費をどのように生活設計に活用できるか具体的に考える。	思考・表現・判断
50分	人生100年時代の生活設計 【ねらい】1年間の学習をふまえて、生活設計をアップデートする。 ・年度当初の生活設計を振り返り、職業選択・結婚・出産・退職などのライフイベントについて将来の見通しを立てて意思決定する。 ・ライフステージの特徴や課題をふまえたより緻密な生活設計を考える。	主体的に学習に向かう態度

（５）人生１００年時代のスタートを切ろう（１／５時間）

〇本時の目標

人生設計の作成を通して生活を営むために必要な知識と技能は何かを考え、学習目標を立てることができる。

〇学習活動と評価

時間	学習活動	指導上の留意点	評価場面・評価規準
導入 ３	１　単元の目標の確認と本時の目標の確認	・中学校の家庭科で学んだことを自由に発表させ、高校で学習する内容の見通しを持たせる。	
	学習目標の設定 【ねらい】将来を見通して生活設計を達成するために必要な知識と技能は何かを考え、学習目標を立てることができる。		
展開 １０	２　自分が思い描く将来を可視化し、人生の目標を確認する。 個別学習	・将来の生活をイメージして生活設計を立てよう。	■評価方法 ワークシート 主体的に学習に取り組む態度
５	３　グループで共有し、共通する迷いや多様な価値観があることを理解する。 グループ学習	・将来像の違いから価値観の多様性を理解させるとともに、将来を思い描くのが難しいことを実感させる。	
１０	４　生活設計を達成するために必要な知識や技能を考え、発表する。 個別学習 グループ学習	・生活設計を実現するために身に付けたい力は何だろうか。 ・タブレットの共有シートに記入させ、グループで考えを共有する。	
５	５　家庭科で身に付ける力は各ライフステージで必要な知識や技能と不可分であることを理解する。 一斉学習	・協議や発表を通して、生活設計の達成は個人の知識・技能だけでなく家族・地域・社会のあり方に影響を受けることに気付かせる。	
１０	６　家庭科の学習目標を考える。 個別学習 グループ学習	・あなたが思い描く将来を実現するために家庭科でどんなことを学びたい？。 ・教科書の内容をもとに消費者市民としての意思決定能力の必要性に気付かせる。 ・協議や発表を通して、家族・地域・社会のあり方を形作っていく実践力について考えさせる。	■評価方法 ワークシート 思考・判断・表現
終末 ５	８　学習の振り返りを記入する。	・学習プリントに記録する。	